

こころの玉手箱 7月号



「ペットの命を守るためには」



2019年度の統計によると、香川県では、野犬や飼えなくなった犬の保健所での収容数が全国ワースト1位、殺処分率ワースト2位となっています。このように犬の殺処分の多い香川県において、ペットの命を守るためにできることは何かについて考えました。

☆ 1年生 ☆

- ☆ 殺処分されるのはひどいことだけど、前田さんのような人たちが、殺処分される直前まで可愛いがっていることは、とても尊敬できました。ほんとは死ぬ直前まで飼い主が側にいることが当たり前なので、少しでもペットを捨てる人が少なくなってほしいです。
- ☆ 命を守るためには、愛情もそうだけど飼わないというのも命を守るのかなと思った。
- ☆ 人間の身勝手な理由、そんなことで捨てられてその上殺される。こんなことがあってはならないと思います。こういうことを「かわいそう」の一言で片付けてはいけなと思います。
- ☆ ペットを飼ったことがないので飼いたいと思うけれど、お店で飼うのではなく施設からひきとって最後まで飼い続ければ、殺処分を減らせると思いました。どんな命も大切にされるべきだと思います。

☆ 2年生 ☆

- ☆ 私はペットを飼っている人が今日見た動画などを見て、最後までしっかりと育てようと思ってもらえば殺処分の犬猫が減ると思いました。処分される犬たちを見て、すごく残酷だと思いました。
- ☆ 1年で2400匹もの動物が、飼い主の理由で保護施設に運ばれ、新しい飼い主が見つからないと殺処分されるという結末にとっても悲しくなりました。私も犬を飼っているので、これからは責任をもって犬も一つの命しかないと心に留めて、自分たちの都合で犬を捨てないようにしたいです。
- ☆ 犬や猫などの動物も人間と同じ心臓を持っていて殺処分をすることは人を殺すのと同じなんだということが改めて分かりました。犬や猫たちの命は、人間に軽い気持ちで捨てられるほど軽いものじゃない、犬や猫にも一つの人生、心があると気づかされました。

☆ 3年生 ☆

- ☆ 私は小さい頃から色々なペットを飼ってきましたが、どの子もなくなる時を看取るのはとても辛いです。ペットを捨ててしまう人にはどんな理由があっても動物の命を見捨ててほしくないで、目の前の命の尊さをきちんと理解した上で飼ってもらいたいです。
- ☆ 軽い気持ちでペットを飼わないこと、最後までエサをあげて面倒もみてあげられる覚悟をもって飼うことが大切だと思う。私も高松の「ペットの森」に何回か行ったことがあるけれどたくさん犬、猫がいました。最近は保護施設から引き取って譲渡しています。そういう存在をもっと知ってほしいです。命をそんなに軽く扱わないでほしいです。
- ☆ 犬と猫は、私達と同じ「生きている」という認識はそれぞれちゃんとあるんだと思います。でも、「人権」や人間と「同じように」生きているという認識がないからこういった殺処分があるのかなと思います。まずは、その認識を変えないといけないと思います。

保護者の皆さんへ

お子様と意見を交換して、感想などをお気軽にお寄せください。

----- 切り取り線 -----

保護者返信欄 (お子さんを通じて担任までお渡し下さい。)

保護者からの声 『逃した完全試合』

- これからいろいろな体験をしていくと思いますが、どんなことがあっても、常に前向きに感謝の気持ちを忘れることなく器の大きい人になってほしいです。
- 勝っているからと油断していると、試合では、何が起こるかわからないので子供たちにも気を抜かないでいてほしいです。
- とても広い心の持ち主だと思います。人は誰かのせいにしないと生きられない生き物なのかもしれない。そうやって自分の心をコントロールしていくのかな? とも思います。結果、人のせいにしても何も自分の為にはならないので、成長を求めるなら自分自身の態度を改めて、今後の人生が良くなるように考えていける人になってほしいです。
- これからいろいろな苦しい体験をしていくと思いますが、どんな事があっても、常に前向きに感謝の気持ちを忘れることもなく、器の大きい人になってほしいです。

いつもたくさんのご返信、ありがとうございます。紙面の都合上、ご返信頂いた感想の一部のみを掲載しています。ご了承ください。